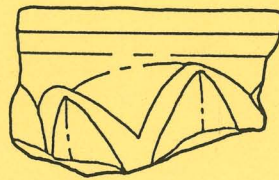


南柳遺跡第5次調査

—太子町総合運動公園建設に伴う遺跡確認調査—



1999年5月

太子町教育委員会

例言

1. 本書は、兵庫県揖保郡太子町佐用岡字西光寺96番地において実施した、太子町総合運動公園建設に伴う遺跡確認調査の概要報告書である。
2. 調査は、平成10年9月16日に実施したものである。
3. 調査は、揖保郡太子町教育委員会が主体となり、同社会教育課三村修次、海野浩幸が担当した。
4. 調査にあたっては、太子町シルバー人材センターの協力を得た。
5. 整理作業にあたっては、井上道子、岩村千穂、改発法子、藤井昭子、中村豊子の協力を得た。
6. 基準点測量は、喜多村測量株式会社に委託した。
7. 本書で示す標高値はT. P. を、座標は国土座標第V系を基準とした。
8. 本書の執筆・編集は、三村修次、海野浩幸が行なった。

本文目次

例言

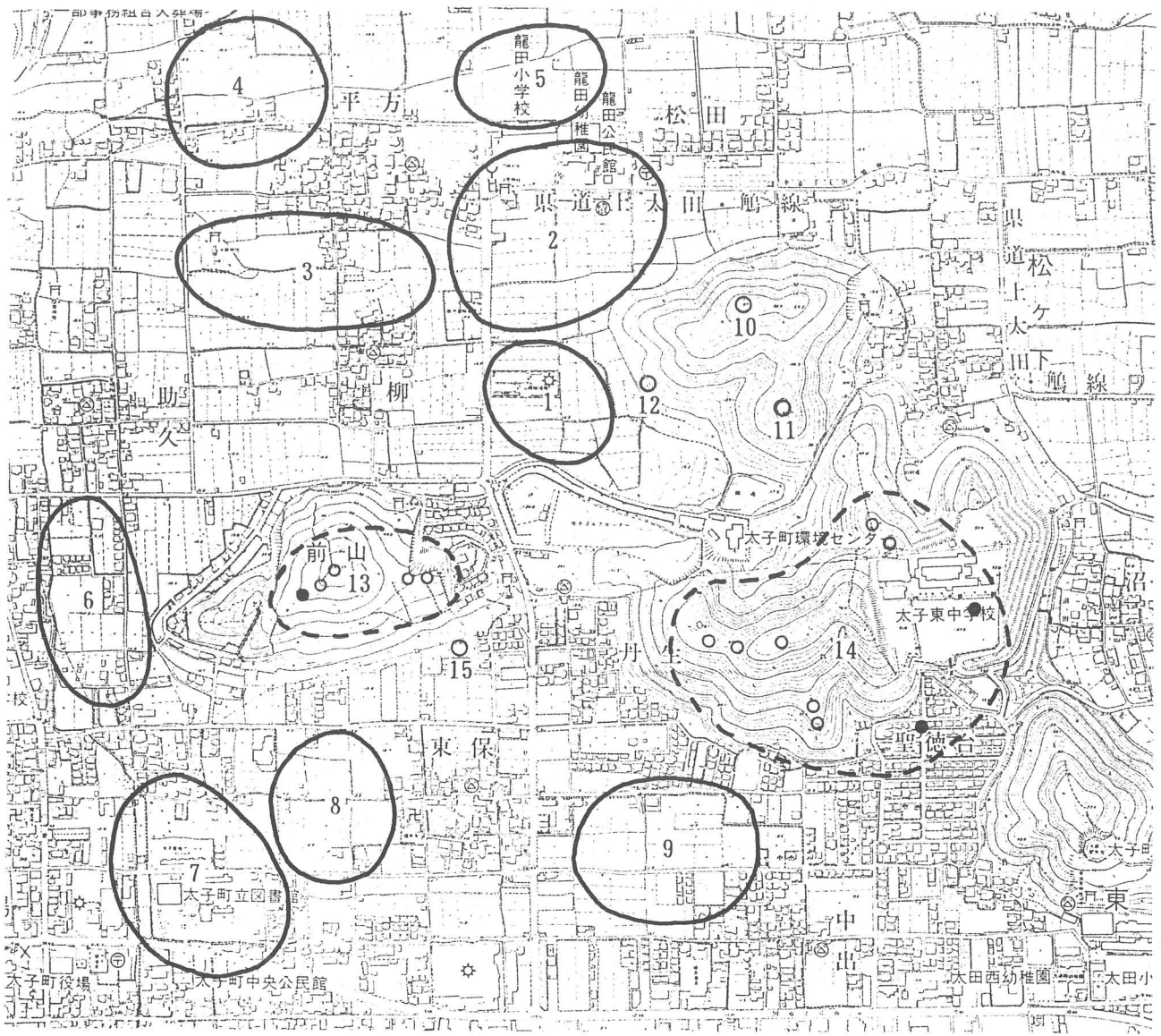
調査に至る経過	1
調査の概要	1
まとめ	3

挿図目次

第1図 周辺遺跡分布図	
第2図 調査位置図	1
第3図 試掘坪設定図	1
第4図 土層実測図	2
第5図 遺物実測図	3

図版

図版1	上	調査前	
	中	No. 1 坪南壁面	
	下	No. 2 坪南壁面	
図版2	上	No. 3 坪南壁面	
	中	No. 4 坪西壁面	
	下	No. 5 坪西壁面	



第1図 周辺遺跡分布図 (1/10,000)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 南柳遺跡 | 2. 平方遺跡 | 3. 平方宮ノ本遺跡 |
| 4. 平方壺丁田遺跡 | 5. 平方高田遺跡 | 6. 助久五反畑遺跡 |
| 7. 鶴遺跡 | 8. 東保高田遺跡 | 9. 東保遺跡 |
| 10. 松田山古墳 | 11. 坊主山古墳 | 12. 柳山古墳 |
| 13. 東保山古墳群 | 14. 丹生山古墳群 | 15. キツネ岩遺跡 |

南柳遺跡第5次調査

1. 遺跡の所在地

兵庫県揖保郡太子町佐用岡字西光寺98番地

2. 調査機関

兵庫県揖保郡太子町教育委員会

3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課

三村修次、海野浩幸

4. 調査期間

平成10年9月16日

5. 調査面積

30.25m²

6. 記録作成

調査区域図 (1/100)、土層断面実測図 (1/20)

遺物実測図 (1/1)、写真記録 (カラー/カラーリバーサル 35mm)

国土座標記録



第2図 調査位置図

(国土地理院「龍野」1:25,000)

7. 調査に至る経過

太子町総合運動公園建設に伴い、造成区域内南西部に仮設排水路を設置することになり、当該地は周知の遺跡である南柳遺跡の北辺に位置し、また平成8年度に実施した平方遺跡第6次調査地点が南に近接することから、両遺跡の広がりを把握するために確認調査を実施することにした。

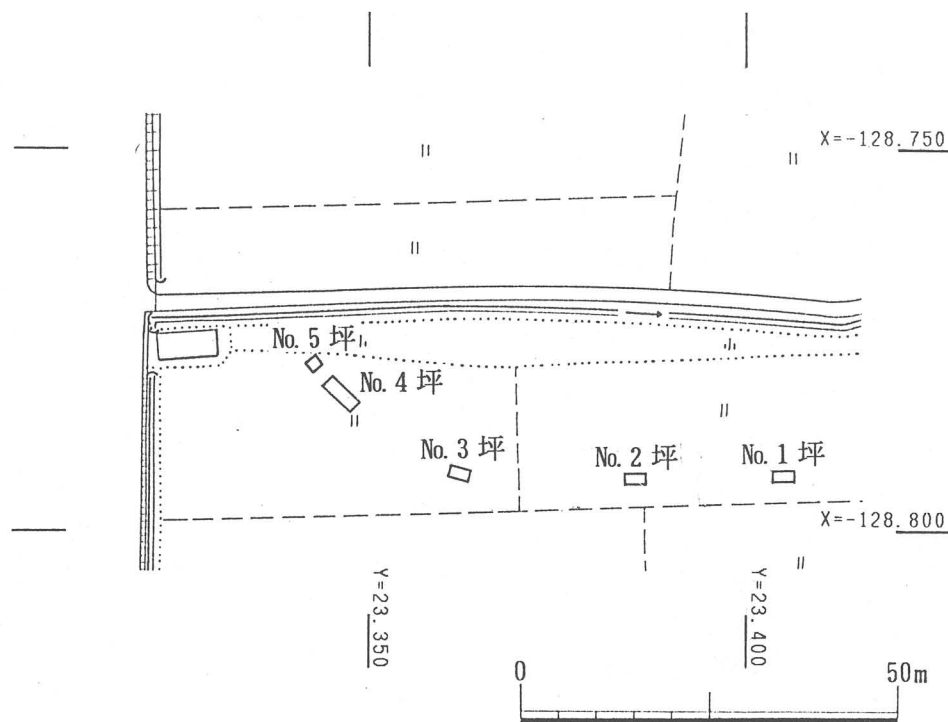
8. 調査の概要

調査は、仮設排水路計画部分に試掘坪を5箇所設定して実施した。

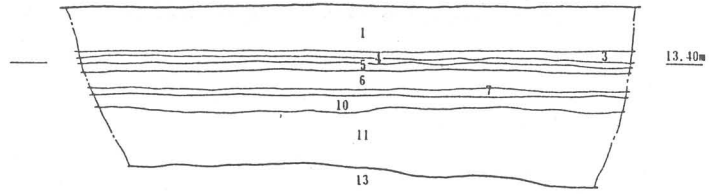
調査の結果、No. 2坪を頂点にしてその東西では地山面が落ち込んで行く旧地形であることが確認された。

遺構は各坪とも検出されなかった。

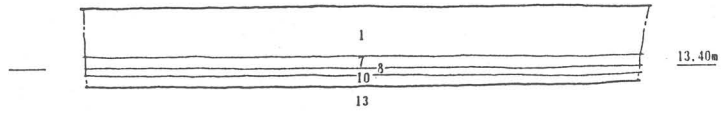
遺物はNo. 2～4坪からサヌカイト剥片・弥



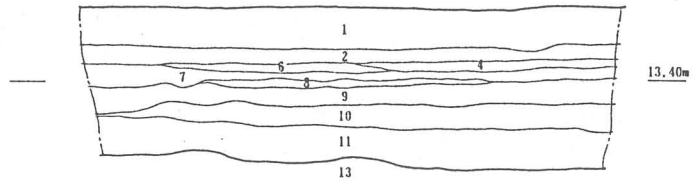
第3図 試掘坪設定図



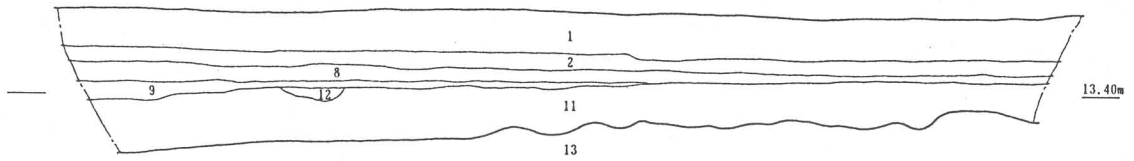
No. 1 坪南壁断面图



No. 2 坪南壁断面图

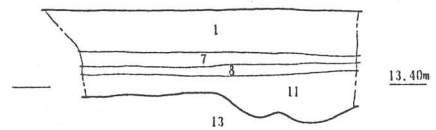


No. 3 坪南壁断面图

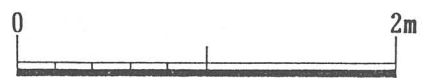


No. 4 坪西壁断面图

- 1 耕土
- 2 旧耕土
- 3 黄白色岩崩土混じり褐灰色土
- 4 褐灰色土
- 5 明灰色土
- 6 黄灰色土
- 7 灰黄色土
- 8 暗黄色土
- 9 暗灰褐色粘质土
- 10 明灰色粘质土
- 11 黑褐色粘质土
- 12 灰褐色砂
- 13 黄色粘质土·地山

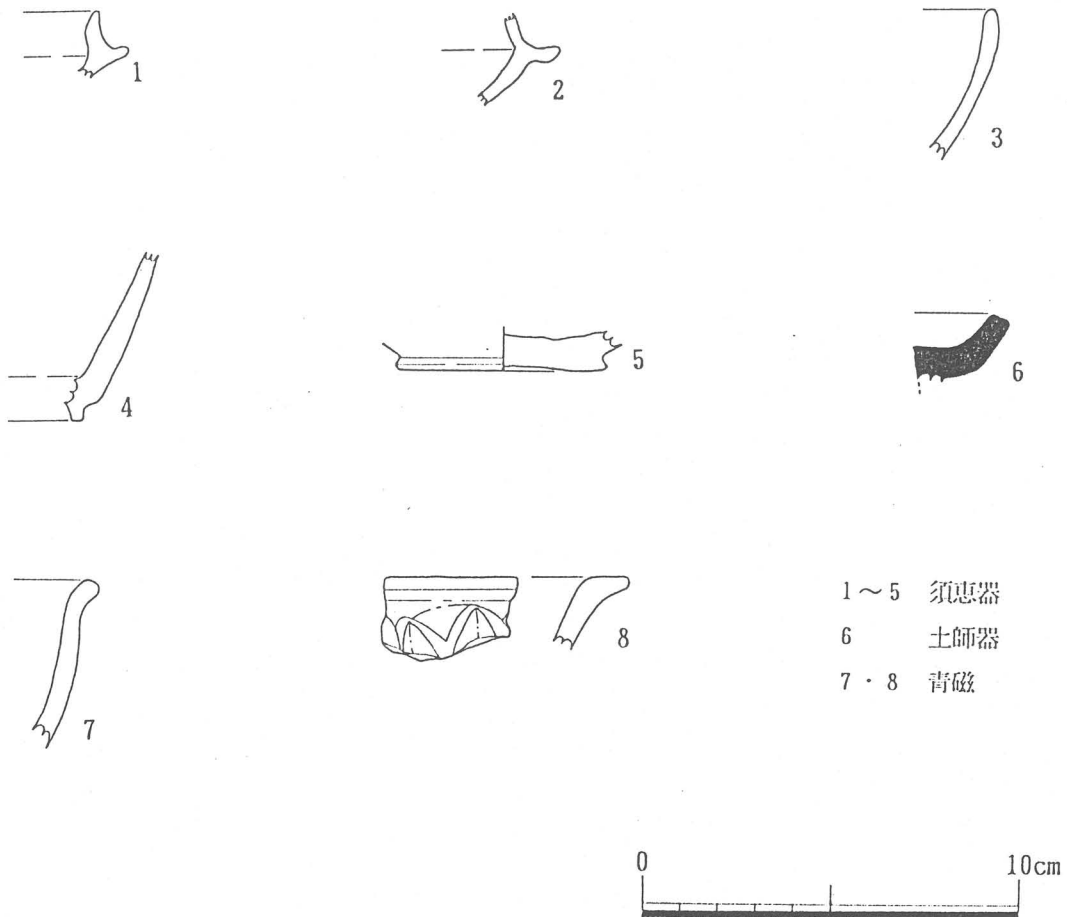


No. 5 坪西壁断面图



第 4 图 试掘坪土层断面图

生式土器・須恵器・青磁片がわずかに出土しただけである。いずれも小片で、実測図化できたものは 8 点を数えるだけであった。



No. 1 坪 (3) No. 2 坪 (6) No. 3 坪 (1・2・8) No. 4 坪 (4・5・7)

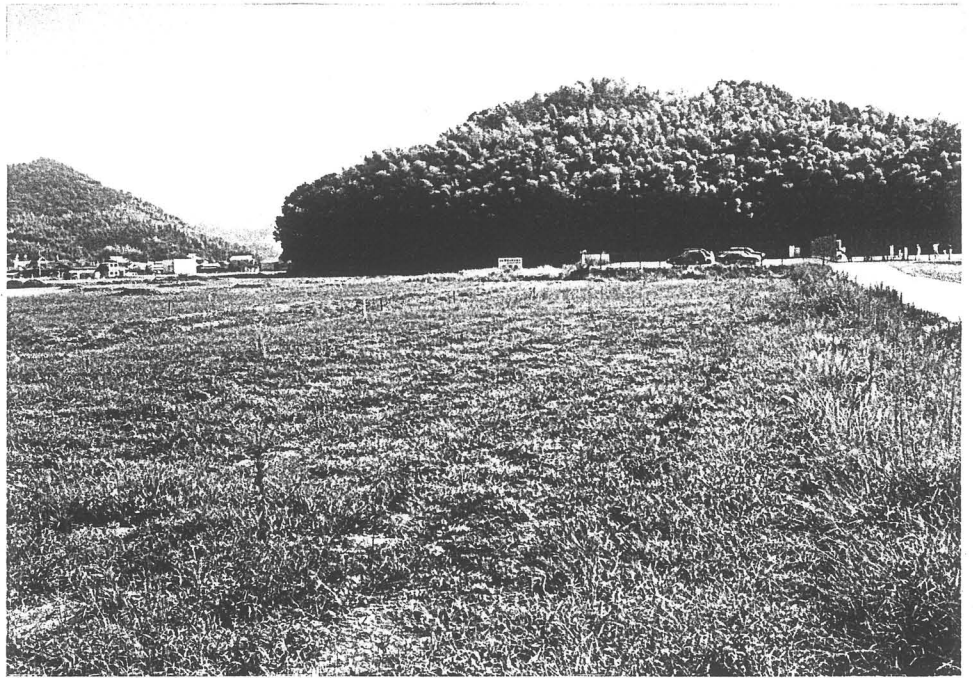
第 5 図 遺物実測図

9. まとめ

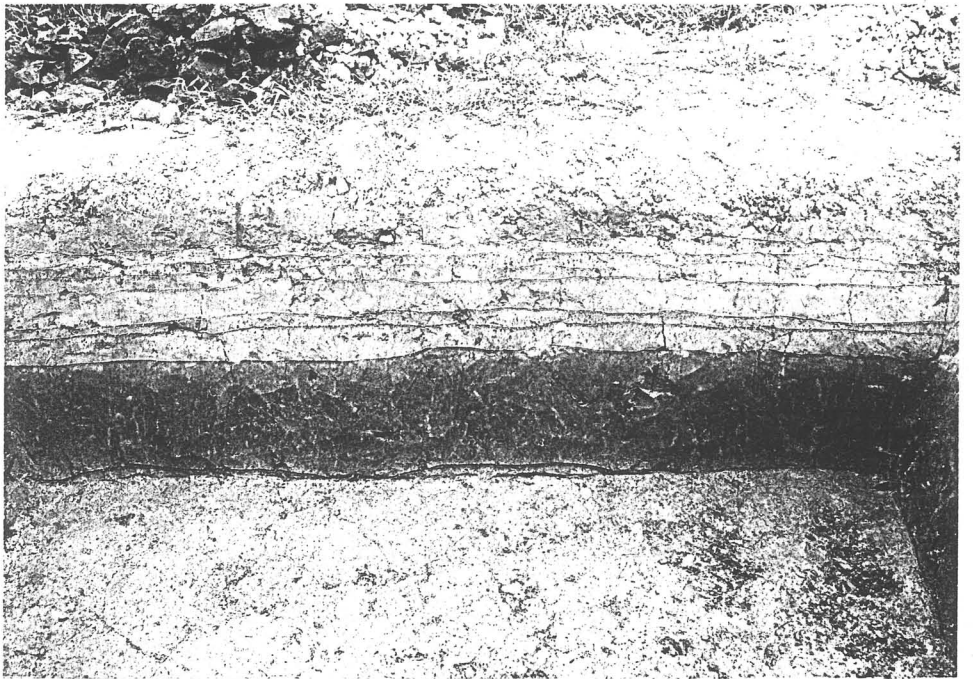
今回の調査地点では遺構は検出されず、また遺物についても流れ込みと考えられる小片がわずかに認められただけであり、南柳及び平方遺跡の範囲は及んでいないことが判明した。

南柳遺跡の北限及び、平方遺跡の南限を把握するための一資料を得ることができたといえる。

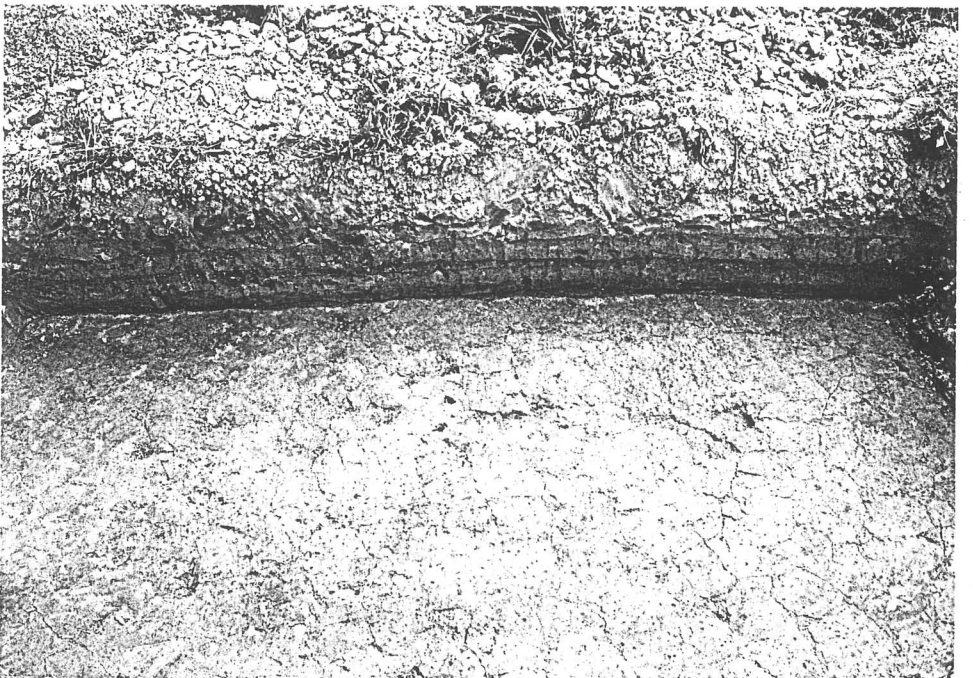
調査前 (西から)



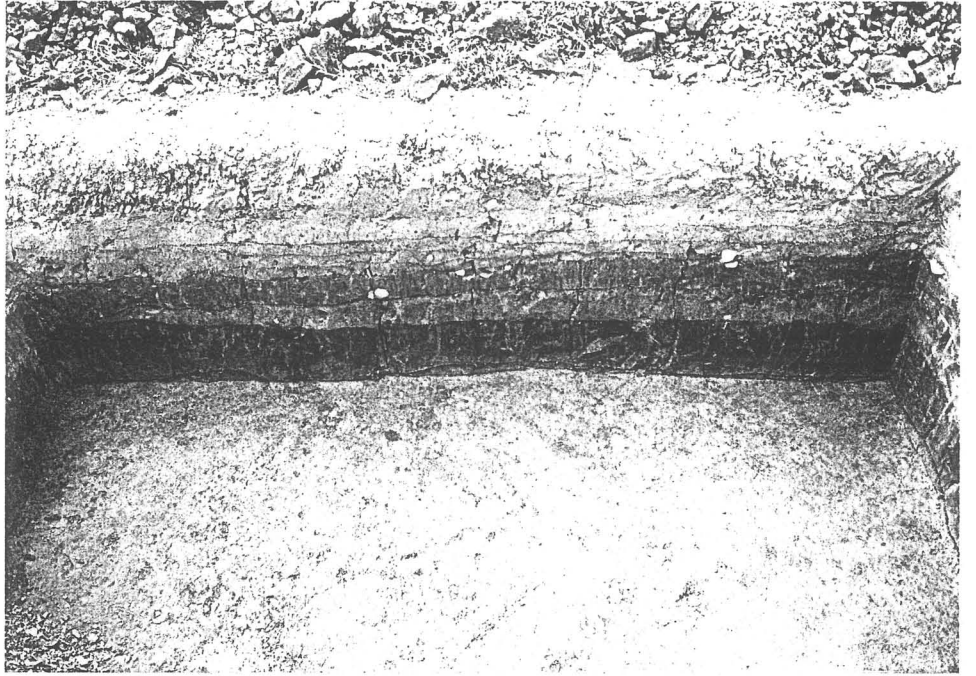
No. 1 坪南壁面



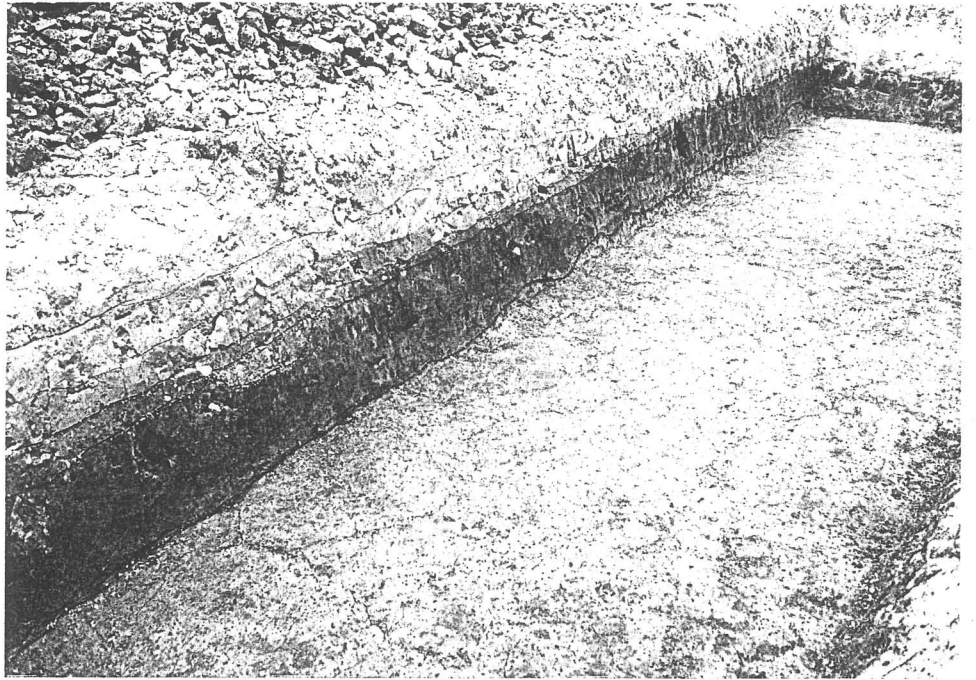
No. 2 坪南壁面



No. 3 坪南壁面



No. 4 坪西壁面



No. 5 坪西壁面

